



那覇港を攻撃した十・十空襲[1944年(昭和19年)10月10日]／出典：沖縄県公文書館



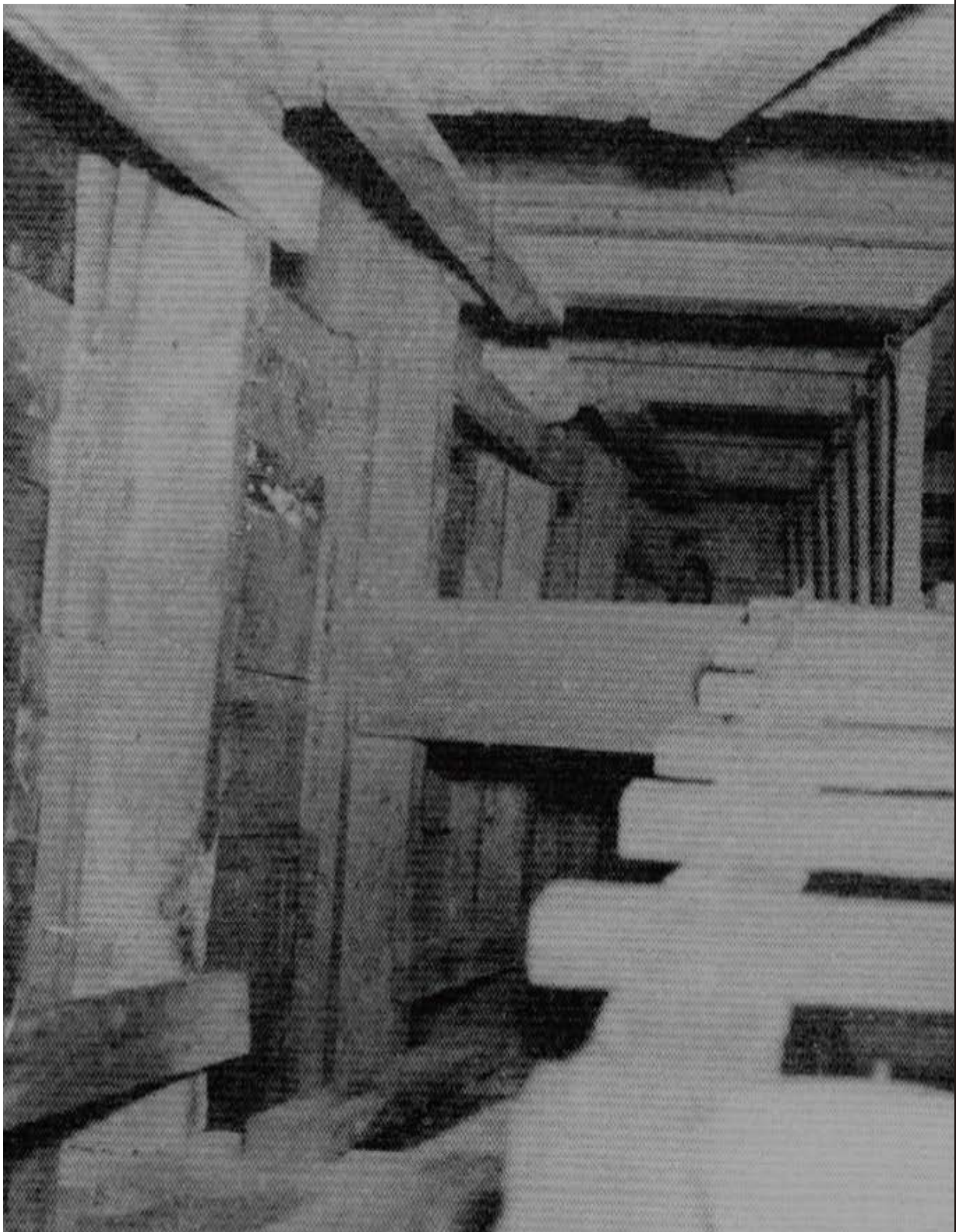


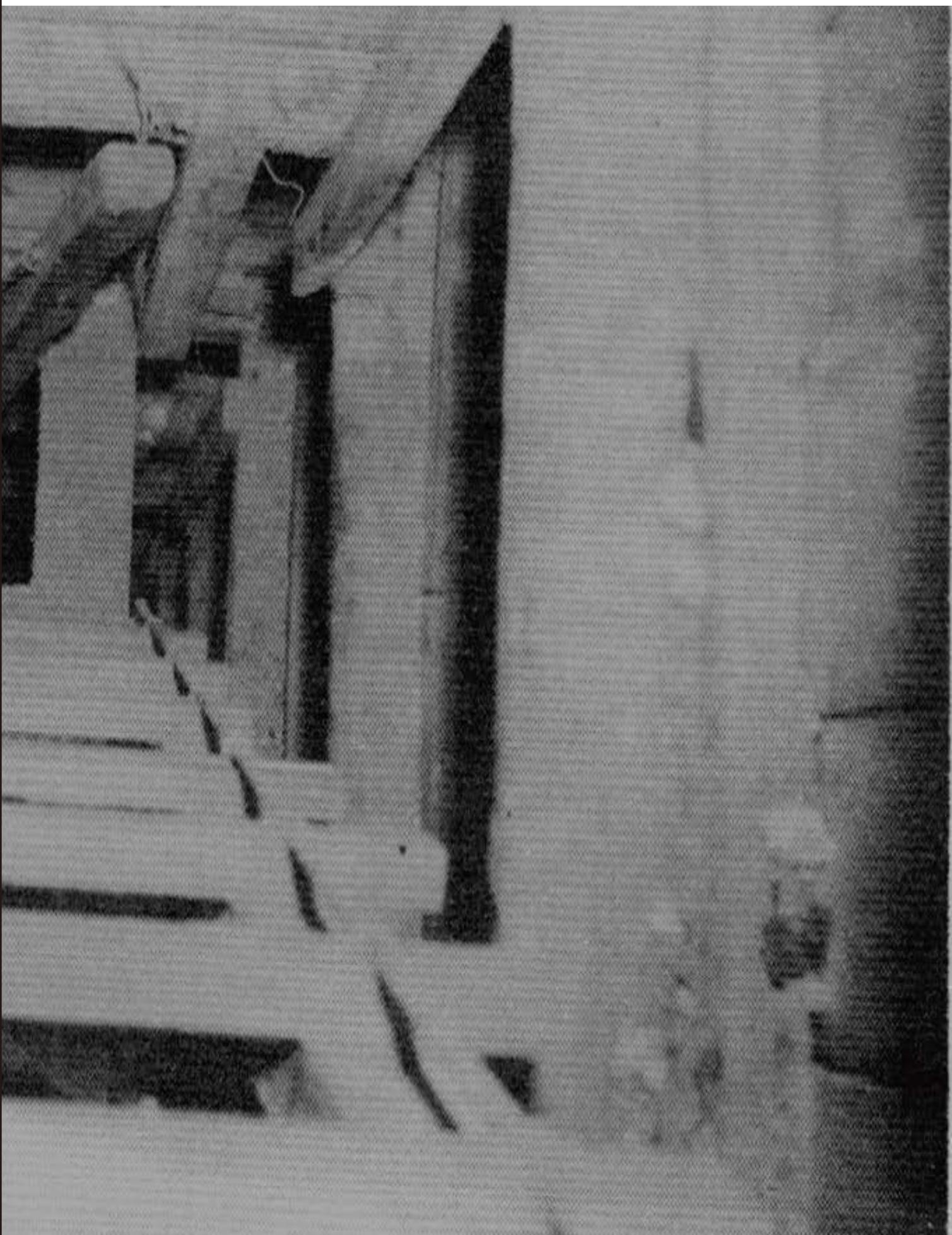
読谷村比謝川河口での米軍の物資陸揚げ[1945年(昭和20年)4月19日] / 出典: 沖縄県公文書館





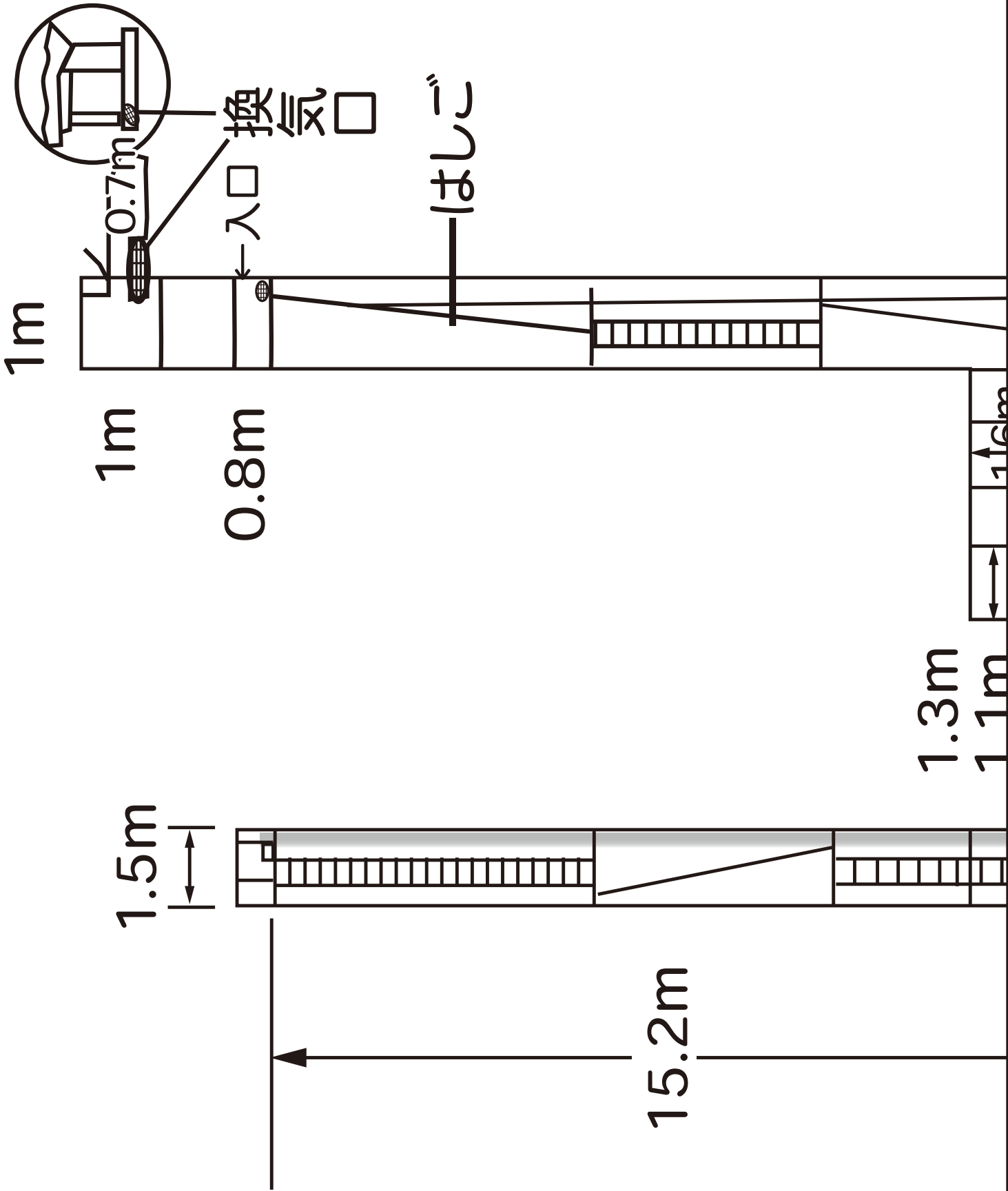
1945年(昭和20年)6月のシュガーローフ・ヒルの風景(現在の那覇市新都心地区)
／出典:沖縄県公文書館





第32軍司令部壕の立坑Aを上から見た写真(インテリジェンス・モノグラフより)

壕の入り口の様子



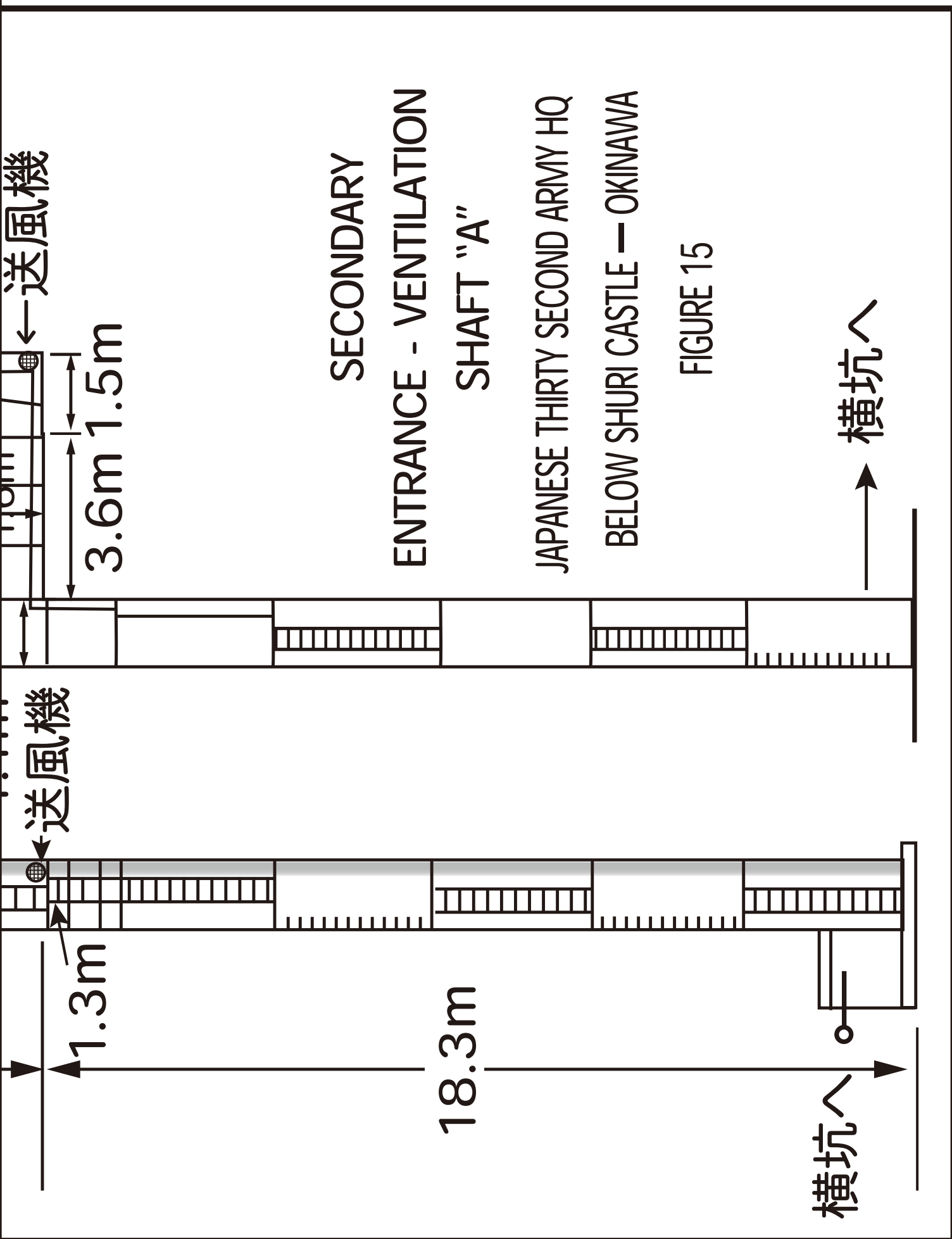
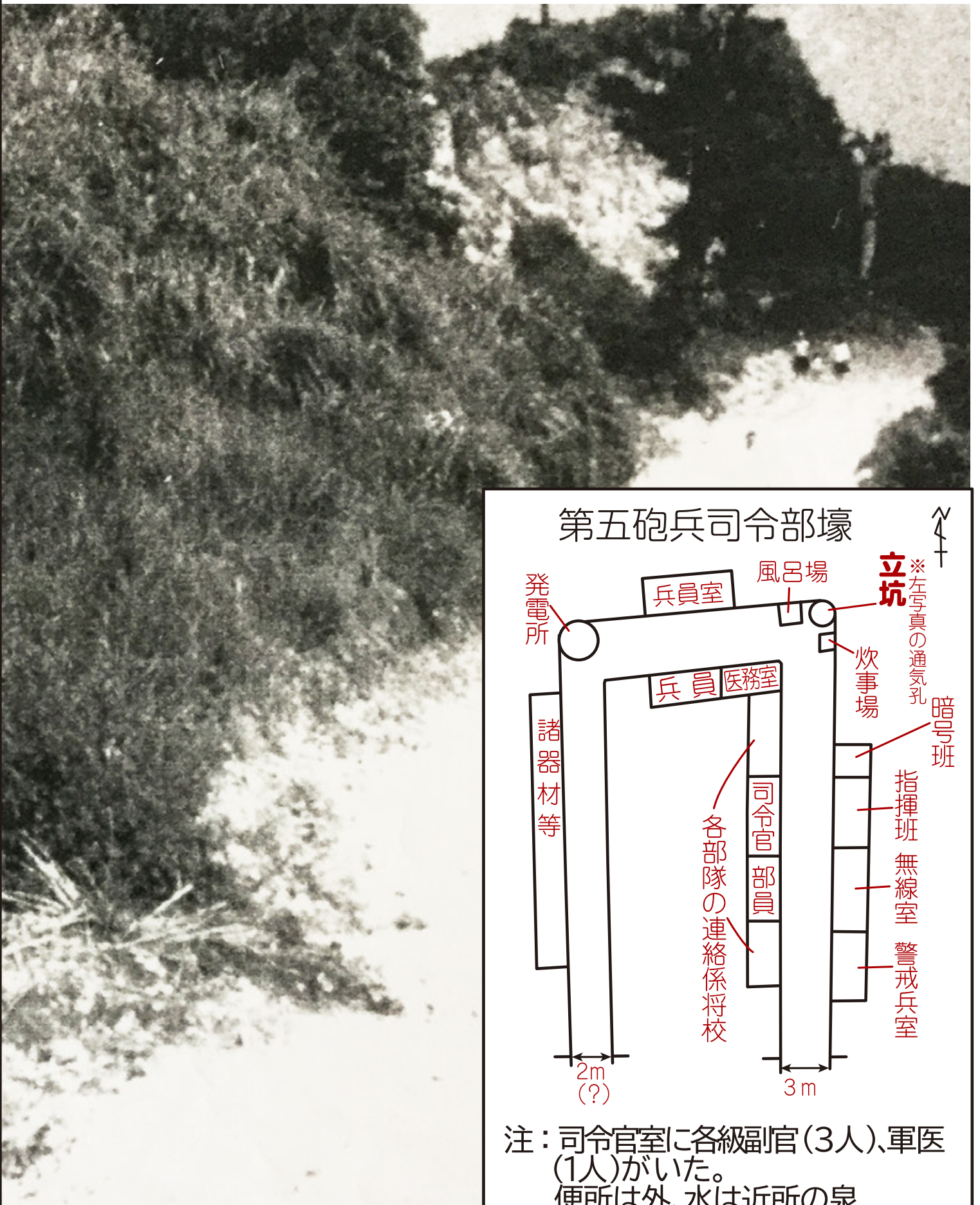


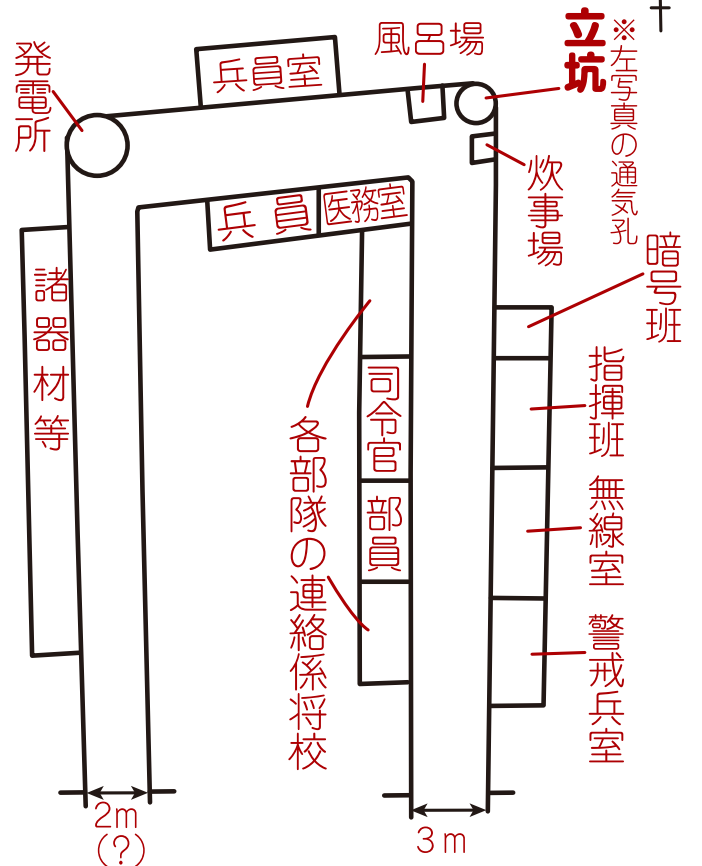
FIGURE 15

第32軍司令部壕の立坑A側面図／インテリジェンス・モノグラフより作成





第五砲兵司令部壕



注：司令官室に各級副官(3人)、軍医(1人)がいた。
 便所は外、水は近所の泉

1960年の第五砲兵司令部壕の通気孔(立坑)の様子／出典：吉嶺全一さん撮影
 第五砲兵司令部壕平面図イメージ／出典：潮書房「丸別冊13号最後の戦闘(沖縄・硫黄島戦記)」(1989年)内
 清水徹也「第五砲兵司令部の一員として」(226p)を参考に作成

門扉等 (平成調査時に補強)

石積

レール



レール

歯車

石積

枕木痕

塩ビパイプ
(平成調査時に設置)

第5坑口の外観。壕の坑口手前に幅60センチでカーブ状の赤くさびたレールが長さ約2.5メートルにわたって発見された。(2025年2月時点)





第5坑道内部の様子。絶えず水が染み出している。[2023年(令和5年)]

第32軍司令部壕ガイドテキスト
(写真資料編)
令和7年度版

2026年（令和8年）3月発行

企画・発行：沖縄県知事公室平和・地域外交推進課

098-894-2226

編集・作成：株式会社まるとまるっと

沖縄県 第32軍司令部壕専用ホームページ

<https://32okinawa.com>

